

令和元年度 事業報告

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

令和元年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。利用者様の自主性を引き出し、満足感を高める支援を実施するとともに、椎茸を中心とした事業の見通しを立て、工賃の維持・向上に努めた。その結果、利用率の向上、工賃の向上が図れた。また地域イベントへの参加により、ノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	13人	利用者24人 延べ3274人	18,580
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	6人	利用者24人 延べ3274人	4,790
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	令和元年 8月3日	湖陵町内	13人	利用者24人 延べ3274人 及び地域住民	414
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、 ワークケアみずうみ	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者24人 延べ3274人	213

令和元年度 事業報告

2019年 4月 1日 ～ 2020年 3月 31日

特定非営利活動法人みずうみ

令和元年度の組織目標

- (1) 利用者様の自主性を引き出し、満足感の高い事業所をともにつくっていく
- (2) 椎茸を中心とした事業の見通しを立て、工賃の維持・向上を実現する

I 令和元年度の重点的取り組み

(1) 利用者様の自主性を引き出し、満足感の高い事業所をともにつくっていく

1 利用者様が自分たちのニーズを語れる場を多く提供し、自分たちが主体となっていくこと

計 画	結 果
①週終わりの会の開催（1回/週）	今週自分が頑張ったことや季節的な話題で利用者様全員が話されていたが、椎茸の出荷作業が忙しく開催できないこともあった。 来年度出荷作業が忙しくないときは開催する。
②おたのしみ会の開催（1回/月）	利用者様が主体となっていたことを考えて開催。散歩が主となっていたが、寒い時期に入り開催しないこともあった。 来年度室内での軽運動を取り入れていく。
③担当職員による定期的な面談（1回/月）	1回/1～3月面談実施し、個別支援計画のモニタリング及びニーズの把握に努めた。 来年度継続する。
④第三者委員による聞き取り（1回/2か月）	第1回（5/20）3人、第2回（7/25）4人、第3回（9/24）4人、第5回（11/20）4人、第6回（1/20）4人、第7回（3/18）3人。今年度から委員交代で隔月開催。今までお話しされなかった方もされるようになるなど定着した。 来年度継続する。

2 職員が情報と支援の方向性を共有し、一貫性のある支援を提供できる体制をつくること

計 画	結 果
①職員会議の開催（1回/週）	職員の新規採用後開催開始する予定だったが、なかなか採用に至らなかった。1月新体制開始、2/17パート職員採用。 来年度無理なくできる体制を整え開催する。

3 利用者様の満足度と職員の自己評価を定期的にモニタリングし、支援の見直しとさらなる向上を目指していくこと

計 画	結 果
①利用者様満足度調査 本人によるアンケート記入、第三者委員による聞き取り（2回/年）	上半期分を9月に、下半期分を3月に実施した。 来年度アンケート項目を見直し、実施継続する。
②職員自己評価 自己評価表により実施（2回/年）	上半期分を9月に、下半期分を3月に実施した。 下半期分より評価表を見直した。 来年度継続する。

4 利用者様のニーズと職員の考えを統合した「組織目標」の達成に向け、力をひとつにするこ と

計 画	結 果
①組織目標の設定（1回/年）	今年度の目標は年度始めに設定。来年度の目標は3/18提出の職員各自の考えを集約し設定した。 来年度継続する。
②目標達成に向けた「支援提供マニュアル」の見直し（随時）	29年度に作成したものを使用した。 来年度必要に応じてマニュアルの見直しを行う。

5 職員が自ら理想とする支援を提供でき、満足感をもって働ける環境をつくること

計 画	結 果
①労働環境の整備（随時）	処遇改善加算及び特定処遇改善加算の算定により、12月から処遇と職員体制の改善を図った。パート職員を採用し、負担軽減を図った。 来年度新体制のモニタリングをしながら必要時見直しを行う。有給休暇の消化を推進する。
②職員のニーズに応えるテーマで、講師を招致し内部研修を開催する（2回/年）	〔上半期〕9/25実施。職員4人参加。 テーマ：精神疾患のある方への対応 講師：島根県精神保健福祉士会 医療法人海星病院 矢野喬夫様

	<p>〔下半期〕3/25 実施。職員 4 人参加。 テーマ：緊急時の対応 講師：株式会社おはつ 吉藤忍様 来年度職員のニーズ、課題に基づいたテーマで実施する。</p>
③外部研修への積極的参加と職員間での学びの共有	<p>職員体制的になかなか外部研修の参加が難しかったが、できるだけ参加を促進した。 7/18 サンマッシュ夏期セミナー（清水） 7/25 菌床椎茸夏期カット講習会（清水） 8/8 NPO 法人事務局セミナー（桑原） 11/26 障がい者虐待防止・権利擁護研修会（清水） 12/10 就労支援ワーキンググループ研修会「ワールドカフェ」（桑原） 12/12 農福連携推進研修会（大塚） 1/16 サービス管理責任者現任者研修（清水） 来年度体制が強化できたためより積極的に参加し、学びを共有することで、職員の資質の向上を図る。</p>
<p>〔元年度数値目標〕 1 日平均利用者数 = 1 2 人</p>	<p>実績 = 1 3 . 8 人（前年度実績 = 1 2 . 4 人） 来年度現状維持するとともに、さらに利用者確保できるよう努力する。</p>

(2) 椎茸を中心とした事業の見通しを立て、工賃の維持・向上を実現する

1 椎茸事業の見通しを立てること

計 画	結 果
①収穫物の質・量の向上 ・知識・技術の習得	<p>J A 営農指導員、北研、先行事業所の指導を仰ぎ、研修にも積極的に参加した。 来年度継続する。</p>
②増棟の検討 ・収穫量・収支データ、工賃支給状況を見て検討する。 ・民間助成金の申請、令和 2 年度 J A 補助金の要望。	<p>現在の職員、利用者の体制では増棟は難しい。 来年度知識・技術の習得により収穫物の質・量の向上を図っていく。収穫量・収支データ、工賃支給状況を引き続き見ていく。</p>

2 工賃の維持・向上を実現すること

◎パン事業の終了による工賃の低下を防ぐ

計 画	結 果
①椎茸栽培の安定化	

* 椎茸事業収支

R1年度	JA出荷重量 (kg)	JA売上 (円)	温泉他売上 (円)	水光熱費 (円)	器具什器・ 消耗品費 (円)	菌床代 (円)	利 益 (円)
4月	322.1	172,714	8,040	18,247	7,300		155,207
5月	305.2	135,361	3,850	19,232	9,690		110,289
6月	88.02	57,997	3,850	20,386	7,300		34,161
7月	225.2	104,987	22,000	18,650	588		107,749
8月	474.4	261,626	25,750	30,301	5,020		252,055
9月	451.5	256,058	28,750	26,882	8,240	220,320	29,366
10月	401.5	188,125	30,950	18,534	12,620	220,320	-32,399
11月	264.8	161,276	21,550	21,266	10,423	220,320	-69,183
12月	217.9	119,578	16,200	14,974	12,695		108,109
1月	387.2	193,837	20,900	18,743	4,947		191,047
2月	232.1	99753	22780	15,773	14,670		92,090
3月	336.3	206853	27810	14444	13405	224640	-17,826
合計	3706.181	1,958,165	232,430	237,432	106,898	885,600	960,665
平均	308.8484	163180.4	19369.17	19786	8908.167	221400	80055.42

年間 JA 出荷量=3,706kg 温泉販売=約 465kg
 ⇒収穫量合計 4,171kg
 当初の JA の収穫量見込みが 4,104kg/年であり、
 収穫量は見込み通りだが、規格外が 11%となった。
 よりこまめに管理作業をしていくため、12 月から
 栽培職員が毎日出勤した。
 来年度温度管理、菌床入れ替え後の管理の徹底と
 栽培技術の向上を図っていく。

②利用者様の主体性の向上
 作業の準備・段取り・片付けまで、利用者
 様ができるように指導する。

利用者様の主体性は大幅に向上し、準備・段取りが
 自分でできるようになり、片付けでは利用者様同
 士が協力し合ってできるようにもなった。
 来年度継続する。

③作業の効率化

椎茸栽培に携わる利用者様を増やし、育成が図れ
 たことで効率化が図れた。魚の屋作業は一人ひと
 りの慣れにより製造量を大幅に伸ばせたが、不良
 も多かった。
 来年度魚の屋作業の不良を減らすための工夫、指
 導を続ける。

④作業の確保
 障害の重い方、高齢の方の作業を確保す
 る。

河内、かみありづきの作業確保に努めるとともに、
 既存の高度な作業の工程を分け、重度の方も部分
 的に参加できるよう工夫を図った。4 月から養護学
 校卒業生 2 人が利用開始されることもあり、以前
 受けていたナカバヤシの作業を再開した。
 来年度引き続き簡易な作業の確保に努める。

<p>[元年度数値目標]</p> <p>①目標工賃＝月 額 14,099円 時間額 315円</p>	<p>①実績＝月 額 15,892円 時間額 349円 (前年度実績＝月 額 16,612円 時間額 349円)</p> <p>・昨年度、椎茸事業の開始に伴い魚の屋の作業量が低下し8万円／月まで収入が減少したが、作業の慣れにより安定的に17万円／月以上得られるようになった。新型コロナウイルスの影響で、今後作業量の減少が懸念される。</p> <p>来年度椎茸の質・量を向上し、魚の屋作業の不良を減らす。魚の屋の作業量の状況を見て、作業の確保、工賃の維持に努力する。</p>
<p>②就労移行（一般企業または就労継続支援A型事業所）＝1人</p>	<p>実績＝一般就労0人。9/18～12/25 社適1人。</p> <p>来年度一般就労の希望や可能性のある利用者に対し、十分な支援を行っていく。</p>

平成30年度事業報告

2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

30年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。利用者様のニーズに応える支援、サービスが提供できるシステムの構築を図った。約10年間取り組んだ「パン製造販売事業」を終了し、新規事業「菌床椎茸栽培事業」を立ち上げ、軌道に乗せることができた。その結果、安定的な運営、目標工賃の達成が図れた。また地域イベントへの参加により、ノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者28人 延べ2925人	20,462
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者28人 延べ2925人	4,410
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	平成30年 5月26日 7月8日 8月4日 10月14日 11月3日 11月9日 11月13日	出雲市内	20人	利用者28人 延べ2925人 及び地域住民	451
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者28人 延べ2925人	284

平成30年度 事業報告

2018年 4月 1日 ～ 2019年 3月 31日

特定非営利活動法人みずうみ

平成30年度の組織目標

- (1) 利用者様のニーズに応える支援、サービスが提供できるシステムの構築
- (2) 新規事業を立ち上げ、軌道に乗せる

I 平成30年度の重点的取り組み

(1) 利用者様のニーズに応える支援、サービスが提供できるシステムの構築

1 利用者様のニーズを知ること

計 画	結 果
①担当職員による定期的な面談（1回/月）	1回/月面談実施し、個別支援計画のモニタリング及びニーズの把握に努めた。 来年度継続する。
②第三者委員による聞き取り（1回/2か月）	第1回（5/21、25）7人、第2回（7/17、19）8人、第3回（9/18、21）6人。第4回（11/26、30）5人。第5回（1/21、28）6人。第6回（3/18）人。皆さん積極的にお話しされた。 来年度委員さん交代制で継続する。

2 職員ひとり一人が自ら「理想的な支援」を考え、それを目指していけること

計 画	結 果
①次年度の組織目標の決定に向けて各自考えをまとめる（1回/年）	3/18 職員各自の考えを提出。 来年度継続する。

3 利用者様のニーズと職員の考えを統合した「組織目標」の達成に向け、力をひとつにするこ と

計 画	結 果
①組織目標の設定	今年度の目標は年度始めに設定。来年度の目標は3/18 提出の職員各自の考えを集約し設定。 来年度継続する。

②目標達成に向けた「支援提供マニュアル」の作成	昨年度作成したものを使用した。 来年度必要に応じてマニュアルの見直しを行う。
-------------------------	---

4 職員が情報と支援の方向性を共有し、一貫性のある支援を提供できる体制をつくること

計 画	結 果
①職員会議の開催（1回/週）	食品関係の作業の開始により職員が張りつきの状況となり、営業時間内に会議開催することが困難となった。 来年度営業時間終了後に開催する。
②担当制の導入 計画に基づいた支援、モニタリング、計画見直し等に置いて中心的な役割を担う。 定期的な面談実施（1回/月）→職員会議で情報共有、支援について協議する。	定期面談の実施を通して担当職員による利用者様の現状、ニーズの把握が深まり、支援の質の向上に効果があった。 来年度職員会議にて情報共有、支援の協議を行う。

5 利用者様の満足度と職員の自己評価を定期的にモニタリングし、支援の見直しとさらなる向上を目指していくこと

計 画	結 果
①利用者様満足度調査 第三者委員による聞き取り（1回/2か月）	利用者様ニーズ調査（アンケート方式。記入困難な利用者様は第三者委員が聞き取り）を9月、3月に実施。 来年度継続する。
②職員自己評価 自己評価表により実施（1回/2か月）	上半期職員自己評価（評価シート記入）を9月、3月に実施。 来年度半年に1回の実施とし、継続する。

6 職員のニーズに基づいた研修の実施により、資質の向上を図ること

計 画	結 果
①職員のニーズに応えるテーマで、講師を招致し内部研修を開催する（2回/年）	〔上半期〕福祉人材センターの職場研修サポート事業を利用し、9/19に上半期の研修を実施。全職員参加。 テーマ：援助に有効なコミュニケーション及びストレス・マネジメント 〔下半期〕上半期の講師を招致し3/18に研修を実施。職員3人が参加。 テーマ：援助に有効な環境を作り出す～利用者の立場に立って～ 来年度職員のニーズ、課題に基づいたテーマで実施する。

<p>②外部研修への積極的参加と職員間での学びの共有</p>	<p>7/4 出雲市障がい者施策推進協議会ささえる専門部会就労支援ワーキンググループ研修会「ワールドカフェ」(槇原)</p> <p>7/19 菌床椎茸夏期カット講習会(清水)</p> <p>7/24～25 サンマッシュ夏期セミナー(清水)</p> <p>8/8 NPO法人事務局セミナー&事務力検定(清水)</p> <p>9/26 出雲市障がい者施策推進協議会就労事業所えんむすび見学ツアー(槇原)</p> <p>10/5 島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会スタッフ研修「こころ病む人との上手なコミュニケーション」(槇原)</p> <p>11/19 しいたけ部会研修会(伊藤)</p> <p>12/4 しいたけ部会年末講習会(森山)</p> <p>1/23 就労支援ネットワーク会議 WRAP 研修(大塚)</p> <p>来年度引き続き積極的に参加する。</p>
<p>[30年度数値目標]</p> <p>1日平均利用者数=12人</p>	<p>実績=12.4人(前年度実績=10.8人)</p> <p>来年度さらなる利用者確保に向け努力する。</p>

(2) 新規事業を立ち上げ、軌道に乗せる

計 画	結 果
<p>①新規事業「椎茸栽培」の立ち上げ</p> <p>◎計画の流れ</p> <p>1) 助成金の申請と交付決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 助成金 2月申請、6月交付決定 ・民間助成金 3～7月申請、7～10月交付決定 <p>2) ボックス設置工事施工、菌床製造開始、職員研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボックス設置工事施工 8～11月の間に着工 ・菌床製造(100～110日間) 7～8月の間に製造開始 ・職員研修 栽培開始の1か月前～ <p>3) 栽培開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10～11月の間に開始。 <p>4) 出荷開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培開始から2週間後。1か月半で通常の 	<p>1) 助成金の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 補助金 6/5 交付決定。4,619,000円。 ・民間助成金 中央競馬馬主社会福祉財団 9/12 交付決定。940,000円。 <p>2) ボックス設置工事施工、菌床製造開始、職員研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボックス設置工事施工 工期 9/20～11/24。市の検査 11/27。 ・菌床製造 7月～製造開始 ・職員研修 10/15 椎茸担当の職業指導員2名採用し、つわぶきネットにて10/15～24研修。 <p>3) 栽培開始 11/29 菌床搬入、栽培開始</p> <p>4) 出荷開始 12/7 初出荷</p>

<p>収穫量に達する。</p>	<p>*平成 30 年度椎茸事業収支</p> <table border="1" data-bbox="810 241 1445 589"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>JA 出荷重量</th> <th>JA 売上</th> <th>温泉他売上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11 月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 月</td> <td>235.7kg</td> <td>163,318 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 月</td> <td>685.8kg</td> <td>370,644 円</td> <td>26,100 円</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>413.1kg</td> <td>307,800 円</td> <td>9,800 円</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>396.2kg</td> <td>229,015 円</td> <td>12,500 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1730.8kg</td> <td>1,070,777 円</td> <td>48,400 円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="810 638 1445 1025"> <thead> <tr> <th>水光熱費、器具 什器、消耗品費</th> <th>菌床代</th> <th>利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42,901 円</td> <td></td> <td>-42,901 円</td> </tr> <tr> <td>66,921 円</td> <td></td> <td>96,397 円</td> </tr> <tr> <td>30,919 円</td> <td></td> <td>365,825 円</td> </tr> <tr> <td>29,894 円</td> <td></td> <td>287,706 円</td> </tr> <tr> <td>38,350 円</td> <td>328,640 円</td> <td>-125,475 円</td> </tr> <tr> <td>208,985 円</td> <td>328,640 円</td> <td>581,552 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>来年度収穫物の質・量ともに向上していけるよう努力する。収穫量、工賃の状況を見て増棟を検討。</p>	月	JA 出荷重量	JA 売上	温泉他売上	11 月				12 月	235.7kg	163,318 円		1 月	685.8kg	370,644 円	26,100 円	2 月	413.1kg	307,800 円	9,800 円	3 月	396.2kg	229,015 円	12,500 円	合計	1730.8kg	1,070,777 円	48,400 円	水光熱費、器具 什器、消耗品費	菌床代	利益	42,901 円		-42,901 円	66,921 円		96,397 円	30,919 円		365,825 円	29,894 円		287,706 円	38,350 円	328,640 円	-125,475 円	208,985 円	328,640 円	581,552 円
月	JA 出荷重量	JA 売上	温泉他売上																																															
11 月																																																		
12 月	235.7kg	163,318 円																																																
1 月	685.8kg	370,644 円	26,100 円																																															
2 月	413.1kg	307,800 円	9,800 円																																															
3 月	396.2kg	229,015 円	12,500 円																																															
合計	1730.8kg	1,070,777 円	48,400 円																																															
水光熱費、器具 什器、消耗品費	菌床代	利益																																																
42,901 円		-42,901 円																																																
66,921 円		96,397 円																																																
30,919 円		365,825 円																																																
29,894 円		287,706 円																																																
38,350 円	328,640 円	-125,475 円																																																
208,985 円	328,640 円	581,552 円																																																
<p>②適切な作業の組み立てと提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培、収穫、選別、軸切り、袋詰め等の工程に対し、利用者様を適材適所で配置し、一人ひとりが能力を発揮し、役割を果たせる体制を組み立てる。 今までシールの絵描きや簡単な内職作業中心で低めの工賃だった利用者様の工賃を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> 重度の利用者にも軸切り、袋詰め作業が十分可能であり、優先的に取り組んでもらうことで工賃確保が図れた。 栽培作業を担当する利用者が、意欲的に事業に取り組まれた。 <p>来年度継続する。</p>																																																	
<p>〔30年度数値目標〕</p> <p>①目標工賃＝月 額 14,081円 時間額 314円</p>	<p>実績＝月額 16,612円 時間額 349円 (前年度実績＝月額 14,073円 時間額 313円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚の屋作業、7月開始。11月には13万円を越えたが、椎茸作業開始に伴い作業量減少した。 パン製造、12月末で終了。 <p>来年度椎茸の質・量の向上、魚の屋作業の作業量向上により、パン終了による収入減を補っていく。</p>																																																	
<p>②就労移行（一般企業または就労継続支援A型事業所）＝1人</p>	<p>実績＝一般就労1人（前年度実績＝0人）</p> <p>来年度来年度も1人を目標として支援を行う。</p>																																																	

平成29年度事業報告

2017年4月1日 ～ 2018年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

29年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。利用者様のニーズに応えられる事業所となるため、サービスの質の向上に向けた取り組みを開始した。工賃は目標額を達成できなかったが、新規事業の計画を行ったことで、次年度以降の工賃の維持・向上の見通しを立てられた。また、地域イベントへの積極的参加により、ノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者22人 延べ2602人	14,830
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者22人 延べ2602人	2,683
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	平成29年 5月28日 8月5日 8月20日 9月11日 9月23日 9月29日 9月30日 10月1日 10月7日 10月21日 10月28日 11月9日 11月10日 11月17日 11月18日 11月25日 11月26日 平成30年 3月9日	出雲市内	20人	利用者22人 延べ2602人 及び地域住民	557
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者22人 延べ2602人	332

29年度の重点的取り組み

(1) 個別性に即した利用者支援の充実

- ◎一人ひとりをかけがえのない存在として受けとめ、尊厳を守ります。
- *利用者様一人ひとりのニーズを的確に捉え、それに応える支援を行います。
- *利用者様の障害特性や希望するライフスタイルを把握し、個別性に即した柔軟な支援を行います。

1 利用者様一人ひとりを大切に、こころに寄り添う支援の充実

計 画	結 果
①感謝の心、笑顔、言葉がけをもって日々の支援にあたる	サービス向上委員会を設置した。 30年度の組織目標及び事業計画の策定に向けた職員の意見のとりまとめ、第三者委員による利用者様ニーズ調査を実施した。 30年度委員会の取り組みを計画的に進める。
②ニーズ把握のための細やかな面談実施	従来通りサービス管理責任者を中心とし面談を実施した。 30年度職員担当制にし、それぞれが定期、また必要に応じて実施する。
③ニーズに応える柔軟なサービス提供	日々の対応に加え、さらなるサービスの充実に向け利用者様ニーズ調査を行った。 30年度定期的なニーズ調査を行い、調査結果を日々の支援に十分反映させていく。

2 事業所の特色と個性を高め、必要とする方に必要なサービスを提供できる事業所

△

計 画	結 果
①「利用者様のタイプに応じたフレキシブルな事業所」として、一人ひとりのペースとニーズに合わせた支援を提供する	利用日以外の日に住家で症状に苦しんでいる利用者様のご希望に沿い、作業メインでなくゆったり過ごしてもらう利用日を1日増やす等の対応を行った。 30年度利用者様お一人おひとりの障害の状況やニーズを把握し、最適な環境、支援の提供に努める。
②「精神障害の方が多く利用されている事業所」として、精神障害の方が落ち着いて過ご	職員に利用者様のプライバシー保護への意識向上を図った。

せる環境と、安心して利用できる支援の提供に努める	30年度 サービス提供マニュアルに基づき、利用者様のプライバシー保護の徹底を図るとともに、より気持ちよく過ごしていただける環境づくりに努める。
③相談支援事業所や病院との連携強化	①のケース等、相談支援専門員、病院相談員、主治医等と情報共有、相談の上、支援の方向性を決定してきた。 30年度 きめ細やかな情報共有、ともに利用者様を支える連携体制の強化を目指す。
④ホームページ、ブログ等からの情報発信の充実	イベントや利用者様の作品紹介等の記事をブログに掲載した。 30年度 就労支援事業所として、新規事業の取り組み等作業の状況についても掲載していく。

〔29年度数値目標〕

計 画	結 果
1日平均利用者数=11人	実績=10.8人 利用者様の入院、退所等が重なり目標達成ができなかったが、養護学校卒業生2人の利用が決定し、30年度の見通しが立った。 30年度 目標の達成に向け職員一丸となって努力する。養護学校の現場実習を積極的に受けていく。

(2) 密な連携による支援の輪の充実

- ◎障がいのある人が地域のなかで自分らしく暮らせるよう、社会資源としての役割を担い、地域社会に貢献します。
- *保健医療福祉サービスやご家族と密な連携を図り、支援チームの一員として利用者様を支えます。
- *日常的な情報共有、足並みを揃えた支援体制の整備に努め、利用者様を中心とした支援の輪の充実に貢献します。

ご家族や相談支援専門員との連携を強め、利用者様をともに支える体制づくり

計 画	結 果
①ご家族との連絡帳の活用	利用者ご家族からの連絡が主となった。 30年度 養護学校卒業生等若年の利用者様については日常的な連絡を行っていく。それ以外の利用者様

	については必要に応じて活用していく。
②相談支援専門員との連携強化	こまめな情報共有を行い、足並みを揃えた支援を実施した。 30年度相談支援専門員とは日々密で丁寧な関わりを行い、利用者様の支援に反映させていく。

(3) 適切な作業提供と一般就労支援

◎障がいのある人の働く権利を保障し、社会の一員として共に活躍できる場をつくります。

*「誰もが取り組める作業」と「高い工賃が得られる作業」を確保し、利用者様の希望、体力、作業能力に応じて、適切な作業を提供します。

*一般就労を目指す利用者様には、その能力及び適性に応じて、関係機関と連携して支援を行います。

一人ひとりの利用者様が能力を発揮できる作業の確保と提供

計 画	結 果
①多くの利用者が参加できる施設外作業の確保	キクラゲ栽培の施設外就労を開始したが、適応できる利用者様が少なく、継続困難となり中止した。 また近年の利用者様の一般就労や障害の重度化により、長年取り組んできたアグリ開発(株)の施設外就労に従事できる利用者様が激減した。 そのためより多くの利用者様が安心して参加でき、すべての層にマッチした作業工程の創出を図るべく、30年度からの新規事業として椎茸栽培の計画を開始した。 30年度自営で農業を行うことで、すべての層に適切な作業を提供していく。
②誰もが取り組める施設内作業の確保	島根ナカバヤシ(株)、河内(株)の請負を継続しながら、新たな作業で(株)かみありづきの請負を開始した。また、重度・高齢の利用者様の作業確保、工賃向上を目指し、簡易で少しでも単価のよい作業の請負を検討した。 30年度すべての層に対応した施設内作業の確保、工賃確保・向上を目指し、請負先を選択していく。

[29年度数値目標]

計 画	結 果
-----	-----

<p>①目標工賃＝月 額 14,869円 時間額 318円</p>	<p>実績＝月 額 14,073円 時間額 313円</p> <p>桑本農園の中止、パンの売上の低迷、どんとこいまつりの売上の不振等の理由により工賃が低下した。パンの販路拡大のため市内の工場を中心に営業を行い、7社の販売先を得て1月後半から販売開始。その結果、売上が8万円代から12万円代に回復した（新たな販売先…KBツヅキ、ナカバヤシ出雲工場、河内、ジンザイスチール、福間商事、やまゆり苑、アルファー食品）。</p> <p>最終的に目標工賃達成はできなかった。</p> <p>30年度 椎茸栽培の開始、単価の良い下請作業の選択、売上の推移・生産能力を見ながらのパン営業実施により、目標工賃達成に向け努力する。</p>
<p>②就労移行（一般企業または就労継続支援A型事業所）＝1人</p>	<p>実績＝0人</p> <p>一般就労希望者に対しては関係機関と連携して支援を続けてきたが、体調が安定しない等の理由により就職に結びつかなかった。</p> <p>30年度 引き続き一般就労希望者に対しての支援に力を注ぎ、目標達成に向け努力する。</p>

(4) 開かれた施設づくりと健全な組織運営

◎地域の方々のご協力、ご支援をいただきながら、明るく風通しのよい組織を目指します。

*地域に根差し社会に開かれた施設づくりを目指します。

*自主製品の販売等を通し、地域の方々に愛され必要とされる施設を目指すとともに、積極的に情報を開示し、健全な組織運営を行います。

安心して利用できる、利用して満足できるシステムづくりと積極的な情報開示

計 画	結 果
<p>①第三者委員の訪問日を設け、利用者が気軽に思いを話せる関係を築く</p>	<p>全6回の相談日を実施。第5回目は利用者様ニーズ調査を実施し、利用者ほぼ全員に聞き取りをしていただいた。その結果、多くの利用者様が気軽に思いを話せるようになられた。</p> <p>30年度 相談、ニーズ調査の取り組みを継続する。</p>
<p>②ホームページを活用した情報の開示と発信</p>	<p>法人概要、事業所の概要・利用方法、前年度の事業報告・決算報告の開示、ブログによるイベント等の</p>

	<p>情報発信を行った。</p> <p>30年度貸借対照表の公告、ブログの内容の充実を図る。</p>
③地域イベントへの積極的参加	<p>15のイベントに延べ19日間参加し、工賃の確保と地域との共生に向け努力した。</p> <p>30年度引き続き積極的な参加に努める。</p>

(5) 職員の専門性・資質向上と環境整備

*職員が自覚と自信を持って働き、利用者様によりよいサービスが提供できることを喜びに感じられるよう、人材育成と職場環境整備に努めます。

的確な支援ができる職員の育成

計 画	結 果
①優れた人材の確保	<p>臨時職員が9月末に退職、正規職員を10月から雇用。正規職員1名が30年度末で定年を迎えるため、人材育成のため若い人材を正規雇用了。</p> <p>30年度事業展開、利用者様の増減を見据え、必要な人材を確保する。</p>
②積極的な研修参加による専門性と資質の向上	<p>3人の職員が計10の研修に参加した。</p> <p>30年度サービス向上委員会にて職員のニーズに基づいた研修を企画し、講師を招致しての開催を計画するとともに、引き続き外部研修に積極的に参加する。</p>
③職員間の疎通を高め、足並みを揃えた支援を確立する	<p>サービス向上委員会を設置し、事業所の目指す方向性とその具体的な方法について職員間で検討を行った。</p> <p>30年度職員会議の毎週開催、担当制の導入等により、チームワークの強化を図る。</p>

平成28年度事業報告

2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

28年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。作業効率と休憩の質の向上を目的として休憩室を建設し、利用者がより利用しやすい施設環境を整備することができた。また、サービスの質の向上や利用者確保、情報公開のため、ハード、ソフト両面の充実を図ることができた。

工賃は前年度実績を上回り、目標工賃を達成できた。また地域イベントへの積極的参加により、ノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者24人 延べ2413人	21,343
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者24人 延べ2413人	2,746
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	平成28年 4月17日 5月19日 5月28日 6月15日 8月6日 8月24日 10月1日 10月22日 10月29日 10月30日 11月5日 11月18日 11月19日 平成29年 3月9日	出雲市内	20人	利用者24人 延べ2413人 及び地域住民	421
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者24人 延べ2413人	330

平成28年度事業報告一覧

特定非営利活動法人みずうみ

1. 障害福祉サービス事業所の運営事業

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所「就労継続支援B型」として、安定した運営、事業の充実を図るべく努力を行った。作業効率と休憩の質の向上を目的として休憩室を建設し、利用者がより利用しやすい施設環境を整備することができた。また、利用者家族との連携、第三者委員の設置によるサービスの質の向上や、ホームページ作成等、ハード、ソフト両面の充実を図ることができた。

〔運営実績〕

	今年度実績	前年度実績	増 減	備 考
1) 営業日数	242日	240日	+1%	
2) 延べ利用者数	2413人	2658人	-9%	
3) 在籍利用者数	15～19人	18～20人	-17～-5%	
4) 1日平均利用者数	10.0人	11.1人	-10%	
5) 新規利用者	5人	4人	+25%	デイケアからの移行 2人 他のB型事業所からの移動 2人 自宅から 1人
6) 退所者	7人	3人	+133%	一般就労 2人 A型事業移行 1人 他のB型事業所へ移動 2人 自己都合 1人 障害の重度化 1人
7) 平均工賃	月額A 15,791円 月額B 32,358円 時間額 338円	15,204円 31,083円 327円	+4% +4% +3%	*H28目標工賃 月額A 14,732円 時間額 316円 *H27年度県平均 月額A 18,245円 月額B 26,667円 時間額 259円

一般就労等への移行により3人の退所者が出たほか、市内B型事業所間の利用者移動の動向が見られるようになったこともあり、入退所の動きが大きくなっている。1日平均利用者数は前年度を下回る結果となったが、送迎範囲の拡大やホームページ作成によるPRにより新規利用者の確保に努め、安定運営の維持に努力した。

〔サービス提供の内容〕

- ① 就労継続支援B型計画の作成
- ② 生産活動、施設外就労、その他の活動の機会の提供
- ③ 就労に必要な知識、能力を向上するための訓練
- ④ 相談及び援助
- ⑤ 職場実習の実施、求職活動及び職場定着の支援
- ⑥ 健康管理

〔事業計画と結果〕

	計 画	結 果
(1) 施設の拡充	作業種目の変化に伴い、作業室内での食事、休憩がとりにくい状況となり、利用者が快適に過ごすことが難しくなっている。作業と休憩のスペースを分けることにより、作業効率と休憩の質の両面を向上させ、利用者がより利用しやすい施設環境を整備することを目的として休憩室の建設を行う。	* 休憩室の完成とその効果 6/21着工、7/29竣工。 休憩室の完成によって、利用者がより利用しやすい環境を整備できた。 休憩室としてだけでなく、大勢のなかでの作業が難しい利用者が個別に作業できるスペースにもなり、当初の計画以上の効果が得られた。

<p>(2) サービス提供体制の整備と円滑な事業実施</p>	<p>充実した職員配置、利用者一人一人の個別性に合わせたケアプランの作成、関係機関との連携などにより、質の高い支援を提供する。働きがいがある生産活動の場を提供し、就労支援や自立訓練の充実を図るとともに、細やかな相談対応を行うことで、利用者のニーズに応えられる施設を目指す。</p> <p>職員の資質や障害者支援の専門性の向上を目的として、外部の職員研修に積極的に参加する。</p>	<p>* 第三者委員の設置 利用者、家族からの苦情に適切に対応する体制を整備し、サービスの質の向上を図るため、第三者委員を設置し、苦情解決に関する規程の見直しを行った。</p> <p>* 職員研修の参加状況 昨年度まで以上に積極的に参加している。</p> <p>8/24 就労支援ネットワーク会議 ワールドカフェ (清水) 9/23 サービス管理責任者・サービス提供責任者・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員との協働研修 (大塚) 10/24 福祉サービス苦情解決研修会 (清水) 11/9 クレーム対応研修～介護コース (大塚) 11/21 経営計画策定実践セミナー (大塚、清水) 11/28 罪を犯した人の支援に携わる福祉関係者のための研修会 (大塚) 2/1 農福連携推進研修会 (清水) 3/15 サービス管理責任者・サービス提供責任者・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員との協働研修 (大塚)</p>
<p>(3) 利用者のタイプに応じた利用が可能な事業所へ</p>	<p>それぞれの利用者のタイプに応じた利用の仕方ができる、フレキシブルな事業所を目指す。</p> <p>タイプA・・・一般就労を目指したい。 タイプB・・・作業でお金を稼ぎたい。 タイプC・・・作業はマイペースでしたい。</p> <p>事業所の特色、特長をPRする媒体としてホームページを作成し、利用者の確保に努める。</p>	<p>* ホームページ作成 2/23完成。作成費用100,000円。 HPのなかで、「利用者のタイプに応じ、一人ひとりのニーズに応える事業所」という点をアピール。 情報発信と閲覧数アップのため、ブログも掲載。</p>
<p>(4) 利用者家族との連携</p>	<p>利用者家庭と事業所間の連絡帳を作成し、ご本人に体調の変化や気になることがあったとき連絡を取り合うことにより、ご家族とのコミュニケーションを図り、連携して対応できる体制をつくる。</p>	<p>* 連絡帳の開始 10月から開始。「ご家庭用」「みずうみ用」の2冊を用意。家族からの連絡、みずうみからの連絡共に利用できている。それを発端に、家族・病院との連携強化、勤務状況の改善に発展しているケースもあり、有意義に実施できている。</p>
<p>(5) 目標工賃</p>	<p>目標工賃の達成を目指す。</p> <p>月額A 14,732円 時間額 316円</p>	<p>* 目標工賃達成</p> <p>月額A 15,791円 時間額 338円</p>

2. 職業訓練及び就労支援事業

施設外就労(農作業)では2か所の請負先から作業をいただき、利用者の能力発揮や農福連携の取り組みを充実することができた。また施設内作業を絶やすことなく、利用者への生産活動の機会の提供を滞りなく行うことができた。前年度に引き続き、工賃確保、魅力ある施設づくり、さらなるNPOの趣旨の実現を目的として、パン製造販売事業を展開した。以上の結果、工賃は前年度実績を上回り、目標工賃を達成できた。

(1) 作業種目

	今年度売上実績	前年度実績	増 減	結 果
①パン製造販売作業	1,916,325円	2,060,665円	-7%	順調に売上を維持できた。
②アルバム製造等軽作業	260,603円	377,780円	-31%	年明けからの利用者の増加に従い、作業量を増加していただき途切れることなく作業確保できた。しかし工賃単価が高い作業が減っており、売上は減少した。
③施設外就労(農作業)	596,485円	513,002円	+16%	桑本農園の通年作業に加え、アグリ開発も12月末まで毎日作業があったため、売上が向上できた。 1月から施設外就労加算の請求開始。 29年度に向け、新しい請負先の確保もできた。
	(内訳) アグリ開発 495,485円	451,502円	+10%	
	桑本農園 101,000円	61,500円	+64%	
④保健センター清掃作業	120,000円	120,000円	±0%	変わりなく委託が受けられた。
⑤農作物加工下処理作業	0円	18,448円	-100%	作業の依頼なし。

3. ノーマライゼーションの普及活動

新しいイベントへの参加等、前年度以上に精力的に活動を行い、利用者の社会参加と工賃の向上、地域住民へのアピールを行った。その結果、工賃の確保にも効果が得られた。

	今年度売上実績	前年度実績	増 減	結 果
イベント販売	421,787円	347,169円	+21%	<p>*福祉・地域イベントへの参加</p> <p>4/17 村田製作所「椿・桜一般公開」 5/19 クラフト展 5/28 ジョウラクローズガーデン 6/15 みつばちイベント 8/6 湖陵どんとこいまつり 8/24 いずもボランティアフェア 10/1 農業技術センターフェア 10/22 みどりの郷ふれあいまつり 10/29 湖陵文化祭 10/30 神西文化祭 11/5 大津ふれあい文化祭 11/18 晩秋ひかわ野工芸巡り 11/19 はあとピアいずも 3/9 みつばちイベント</p>

4. リサイクル運動の推進事業

リサイクル活動の促進、利用者の社会参加の拡大、工賃向上を目的としたグッディー医大通り店での店頭リサイクル事業に継続的に取り組み、多くの地域住民の方々との直接的なやりとりを通して、利用者の社会経験を拡大し、意欲や能力を伸ばしていけるよう支援を行った。

また、湖陵町内の皆様のご協力により多くのアルミ缶をご提供いただき、リサイクル運動を推進できた。工賃維持のために欠かせない作業種目となっており、利用者が張り合いを持って作業に取り組めた。

	今年度売上実績	前年度実績	増 減	結 果
リサイクル作業	322,568円	462,020円	-30%	* 空き缶回収・分別作業 市内各所に業者の資源回収ボックスが多く設置されたためか、回収量が低迷した。
	(内訳) 空き缶回収・分別 257,380円	391,389円	-34%	* はっぴいえコプラザ 売上維持できた。
	はっぴいえコプラザ 65,188円	59,595円	+9%	

平成27年度事業報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

27年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。一般就労、就労継続支援A型事業所への移行等、工賃の低下はあったが、パン製造販売、施設外就労(農作業)、地域イベントへの積極的な取り組みにより、利用者の社会参加の機会の確保やノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者23人 延べ3048人	14,731
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者23人 延べ3048人	3,187
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	平成26年 4月13日 5月24日 5月31日 6月26日 8月2日 10月11日 11月9日 12月20日 12月23日 平成27年 1月26日 2月12日 3月10日 3月29日	出雲市内	20人	利用者9人 延べ22人 及び地域住民	444
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者23人 延べ3048人	463

平成27年度事業報告一覧

特定非営利活動法人みずうみ

1. 就労継続支援B型事業所運営事業

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所「就労継続支援B型」として7年目を迎え、安定した運営、事業の充実を図るべく努力を行った。

(1) 一般就労等への移行支援と円滑な事業実施

一般就労等の利用者の希望の実現に向け、関係機関との連携を密にとり、きめ細やかな支援を実施した。その結果、一般企業に1人、就労継続支援A型事業所に1人、計2人の移行実績を出すことができた。

(2) 利用者確保

新規利用者を4人迎えることができたが、一般就労等への移行支援に力を注いだこともあり、1日平均利用者数は前年度を下回る11.1人に留まった。関係機関に新規利用者の紹介を依頼したり、送迎範囲を拡大したり、現在在籍する利用者で利用日数の少ない方により多く利用していただけるよう働きかけることにより、安定運営の維持に努力した。

(3) 運営実績

- | | |
|--------------|---|
| 1) 営業日数 | 240日 |
| 2) 延べ利用者数 | 2658人 |
| 3) 在籍利用者数 | 18～20人 |
| 4) サービス提供の内容 | ①相談及び援助
②生産活動
③就労訓練及び自立訓練
④実習及び求職活動等の支援
⑤健康管理 |

2. 職業訓練及び就労支援事業

施設外就労(農作業)の請負先が2か所に増え、利用者の活動の場を拡大できたとともに、農福連携の取り組みをさらに充実することができた。また施設内作業を絶やすことなく、利用者への生産活動の機会の提供を滞りなく行うことができた。前年度に引き続き、工賃確保、魅力ある施設づくり、さらなるNPOの趣旨の実現を目的として、パン製造販売事業を展開した。以上の結果、工賃は前年度実績を上回り、目標工賃を達成できた。

(1) 目標工賃の達成

施設外就労(農作業)の請負先の追加、パン製造販売事業および下請け作業(島根ナカバヤシ(株)、(株)河内)の安定的継続等により、今年度の工賃実績は15,204円となり、26年度工賃実績(13,904円)及び27年度目標工賃(14,530円)を上回る結果となった。

(2) 施設外就労(農作業)

平成22年に請負を開始したJAしまねアグリ開発(株)に加え、今年度から大社町の有機栽培農家との業務委託契約にもとづき、畑やビニールハウス内での農作業に取り組んだ。寒い時期も暑い時期も、午前・午後と施設外に出かけ農作業に取り組んだことで、利用者の活動の場を拡大でき、工賃向上にも大きな効果が得られた。請負先に頼りにしていただき、利用者の意欲に応えることができたとともに、農福連携の取り組みを推進することができた。

(3) パン製造・販売作業

高齢者ミニデイサービスが縮小の方向に向かうなか、やすらぎ温泉や下請け作業の受注元での販売が好調で、地域に根差した施設としてNPOの趣旨の実現を果たすことができた。地域イベントに積極的に参加してパン販売を行ったことにより、工賃の確保にも効果が得られた。

(4) 作業種目

- | | |
|---------------|-------------|
| ①パン製造・販売作業 | ②アルバム製造等軽作業 |
| ③施設外就労(JA農作業) | ④保健センター清掃作業 |
| ⑤農作物加工下処理作業 | |

3. ノーマライゼーションの普及活動

* 参加した地域イベント

(1)しまね花の郷「春のフラワーフェスタ」

平成27年4月26日、29日

(2)野の花イベント	平成27年5月3日
(3)ふれあいジョウラクローズガーデン	平成27年5月30日
(4)古布パッチワーク教室個展	平成27年6月5～7日
(5)第30回湖陵どんとこい祭	平成27年8月1日
(6)ふれあいまつり	平成27年9月12日
(7)農業技術センターフェア	平成27年10月10日
(8)出雲市民余芸大会	平成27年12月13日
(9)みつばちイベント	平成28年1月29日

4. リサイクル運動の推進事業

リサイクル活動の促進、利用者の社会参加の拡大、工賃向上を目的とした(株)ウシオ グッディー 医大通り店での店頭リサイクル事業に継続的に取り組み、多くの地域住民の方々との直接的なやりとりを通して、利用者の社会経験を拡大し、意欲や能力を伸ばしていけるよう支援を行った。

また、湖陵町内の皆様のご協力により多くのアルミ缶をご提供いただき、リサイクル運動を推進できた。工賃維持のために欠かせない作業種目となっており、利用者が張り合いを持って作業に取り組めた。

- | | | |
|---------|-------------|-----------------|
| (1)作業種目 | ①空き缶回収・分別作業 | ②グッディー店頭リサイクル作業 |
|---------|-------------|-----------------|

平成26年度事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

26年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。作業種目や職員体制の変更による利用者への影響を最小限に抑えられるよう努め、滞りなくサービスを提供することができた。工賃の低下はあったが、パン製造販売、施設外就労(農作業)、地域イベントへの積極的な取り組みにより、利用者の社会参加の機会の確保やノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者23人 延べ3048人	14,731
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者23人 延べ3048人	3,187
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	平成26年 4月13日 5月24日 5月31日 6月26日 8月2日 10月11日 11月9日 12月20日 12月23日 平成27年 1月26日 2月12日 3月10日 3月29日	出雲市内	20人	利用者9人 延べ22人 及び地域住民	444
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者23人 延べ3048人	463

平成26年度事業報告一覧

特定非営利活動法人みずうみ

1. 就労継続支援B型事業所運営事業

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所「就労継続支援B型」として6年目を迎え、安定した運営、事業の充実を図るべく努力を行った。

(1) サービス提供体制の整備と円滑な事業実施

職員の産休・育休取得に伴い職員体制の変更を行い、サービス提供への影響を極力抑えられるよう努めた結果、円滑に事業が実施できた。また、一般就労等の利用者の希望の実現に向け、関係機関との連携を密にとり、きめ細やかな支援を実施できた。その結果、1名の利用者がA型事業所に移行することができた。

(2) 利用者確保

職員体制の変更による現利用者への影響を抑えるため、下半期は新規利用者の受け入れを控えたことにより、1日平均利用者数が前年度を下回る12.6人に留まったが、安定運営には十分な実績を得られた。長年取り組んだ下請作業がなくなったが、他の作業を確保できたことで、利用者のニーズを大きく損なうことなくサービスの継続が図れた。

(3) 運営実績

- | | |
|--------------|---|
| 1) 営業日数 | 242日 |
| 2) 延べ利用者数 | 3048人 |
| 3) 在籍利用者数 | 20～23人 |
| 4) サービス提供の内容 | ①相談及び援助
②生産活動
③就労訓練及び自立訓練
④実習及び求職活動等の支援
⑤健康管理 |

2. 職業訓練及び就労支援事業

平成18年度から取り組んだパソコン梱包材箱折り作業がなくなったが、他の下請作業を確保でき、施設内作業を絶やすことなく職業訓練を継続することができた。その結果、目標工賃を達成することはできなかったが、利用者への生産活動の機会の提供を滞りなく行うことができた。

前年度に引き続き、工賃確保、魅力ある施設づくり、さらなるNPOの趣旨の実現を目的として、パン製造販売事業を展開した。また、施設外就労(農作業)を通して、効果的な就労訓練を実施できた。

(1) 下請作業の変更と工賃実績

11月末に富士通のノートパソコン用梱包材の箱折り作業がなくなり、新たに島根ナカバヤシ(株)のアルバム箱折り・証書製造作業と、(株)河内の人浴剤箱折り作業を請け負った。それにより、利用者への生産活動の機会の提供を途切れなく行うことができたが、作業単価の低下及び作業量の減少により工賃が低下した。今年度の工賃実績は13,904円となり、25年度工賃実績(14,885円)及び26年度目標工賃(14,963円)を下回る結果となった。

(2) パン製造・販売作業

新しい下請作業の受注元や、前年度に販売開始した「産直市場 桃源」のお客様とのつながりから新たな販売先が開拓でき、より広くみずうみのパンを提供することができるようになった。また、高齢者ミニデイサービスでの販売も継続し、地域に根差した施設としてNPOの趣旨の実現を果たすことができた。地域イベントに積極的に参加してパン販売を行ったことにより、工賃の確保にも効果が得られた。

(3) 施設外就労(農作業)

JAいずもアグリ開発(株)との業務委託契約にもとづき、パプリカ栽培ビニールハウス内の軽作業やにんにく畑での農作業等に取り組んだ。農繁期には前年度以上の長期間にわたり週5日の作業を請け負うことができ、利用者の意欲に応えられるとともに、工賃も確保することができた。

- | | | |
|----------|---------------|---------------|
| (4) 作業種目 | ①パン製造・販売作業 | ②パソコン梱包材箱折り作業 |
| | ③施設外就労(JA農作業) | ④保健センター清掃作業 |
| | ⑤アルバム製造等軽作業 | ⑥農作物加工下処理作業 |

3. ノーマライゼーションの普及活動

* 参加した地域イベント

(1) 出雲村田製作所「2014椿・桜一般公開」	平成26年4月13日
(2) ふれあいジョウラクローズガーデン	平成26年5月24日、31日
(3) みつばちイベント	平成26年6月26日
(4) 第27回湖陵どんとこい祭	平成26年8月2日
(5) 農業技術センターフェア	平成26年10月11日
(6) ふれあいまつり	平成26年11月9日
(7) 花の郷クリスマスキャンドルナイト	平成26年12月20日、23日
(8) 社協リーダー研修会	平成27年1月26日
(9) ふれあいサロン発表会	平成27年2月12日
(10) みつばちイベント	平成27年3月10日
(11) ふれあいサロン発表会	平成27年3月29日

4. リサイクル運動の推進事業

リサイクル活動の促進、利用者の社会参加の拡大、工賃向上を目的とした(株)ウシオ グッディー 医大通り店での店頭リサイクル事業に継続的に取り組み、多くの地域住民の方々との直接的なやりとりを通して、利用者の社会経験を拡大し、意欲や能力を伸ばしていけるよう支援を行った。

また、湖陵町内の皆様のご協力によりアルミ缶回収量が一層増え、リサイクル運動がさらに推進できた。工賃維持のために欠かせない作業種目となっており、利用者が張り合いを持って作業に取り組めた。

- (1) 作業種目 ①空き缶回収・分別作業 ②グッディー店頭リサイクル作業

平成25年度事業報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

25年度は前年度までの経験を生かし、障害者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。パン製造販売、施設外就労(農作業)、店頭リサイクル事業の取り組みを継続し、利用者の社会参加の拡大やノーマライゼーションの普及にも効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	20人	利用者26人 延べ3188人	14,273
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	5人	利用者26人 延べ3188人	3,256
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	4月14日 5月26日 8月24日 10月12日 10月19日 11月2日 11月9日 12月8日	出雲市内	20人	利用者9人 延べ18人 及び地域住民	406
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、店頭リサイクル作業、回収業者への引渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ、グッディー医大通り店	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者26人 延べ3188人	414

平成25年度事業報告一覧

特定非営利活動法人みずうみ

1. 就労継続支援B型事業所運営事業

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所「就労継続支援B型」として5年目を迎え、安定した運営、事業の充実を図るべく努力を行った。

(1) サービス提供体制の整備と円滑な事業実施

充実した職員体制や利用者一人一人の個別性に合わせたケアプランの作成など、適切なサービス提供のための体制を整え、円滑に事業を実施できた。また、利用者のニーズに対し充実した支援を提供できるよう、関係機関との連携を密に行った。

(2) 利用者確保

1日平均利用者数が平成24年度の12.6人を上回る13.2人に達し、年々利用者数は増加傾向にある。新規利用者が定着し、年度末には利用希望者も続いたため、一層安定した運営を行うことが出来た。多様な就労訓練の場の確保、工賃の増額が図れたことにより、利用者のニーズに応えられた。

(3) 運営実績

- | | |
|--------------|---|
| 1) 営業日数 | 242日 |
| 2) 延べ利用者数 | 3188人 |
| 3) 在籍利用者数 | 21～24人 |
| 4) サービス提供の内容 | ①相談及び援助
②生産活動
③就労訓練及び自立訓練
④実習及び求職活動等の支援
⑤健康管理 |

2. 職業訓練及び就労支援事業

前年度に引き続き、工賃向上、魅力ある施設づくり、さらなるNPOの趣旨の実現を目的として、パン製造販売事業を展開した。また、施設外就労(農作業)を通して、効果的な就労訓練を実施できた。24年度に策定した3か年の『工賃向上計画』を順調に遂行できたことで、25年度目標工賃を上回る14,885円(月額)を達成できた。

(1) パン製造・販売作業

今年度1月から、「地産地消」をモットーに地元の生鮮食品、農産物を販売している「産直市場 桃源」での販売を開始し、より広くみずうみのパンを提供できるようになった。また、高齢者ミニデイサービスでの販売も継続し、地域に根差した施設としてNPOの趣旨の実現を果たすことができた。地域イベントに積極的に参加してパン販売を行ったことにより、工賃の向上にも効果が得られた。

(2) 施設外就労(農作業)

JAいずもアグリ開発(株)との業務委託契約にもとづき、パプリカ栽培ビニールハウス内の軽作業やにんにく畑での農作業等に取り組んだ。今年度は作業量が増加し、7月末から12月初旬まで週5日の作業を請け負うことができ、利用者の意欲に応えられるとともに、工賃も向上することができた。

- | | | |
|----------|---------------|---------------|
| (3) 作業種目 | ①パン製造・販売作業 | ②パソコン梱包材箱折り作業 |
| | ③施設外就労(JA農作業) | ④保健センター清掃作業 |

3. ノーマライゼーションの普及活動

* 参加した地域イベント

- | | |
|--------------------------|-------------|
| (1) 出雲村田製作所「2013椿・桜一般公開」 | 平成25年4月14日 |
| (2) ふれあいジョウラクローズガーデン | 平成25年5月26日 |
| (3) 第26回湖陵どんとこい祭 | 平成25年8月24日 |
| (4) 農業技術センターフェア | 平成25年10月12日 |
| (5) なかよしまつり | 平成25年10月19日 |
| (6) ふれあいまつり | 平成25年11月9日 |
| (7) はあとピアいずも | 平成25年11月17日 |
| (8) 出雲市民余芸大会 | 平成25年12月8日 |

4. リサイクル運動の推進事業

前年度、リサイクル活動の促進、利用者の社会参加の拡大、工賃向上を目的として開始した(株)ウシオ グッディー医大通り店での店頭リサイクル事業に継続的に取り組み、多くの地域住民の方々の直接的なやりとりを通して、利用者の社会経験を拡大し、意欲や能力を伸ばしていけるよう支援を行った。

また、湖陵町内の皆様のご協力によりアルミ缶回収量が一層増え、リサイクル運動がさらに推進できた。工賃維持のために欠かせない作業種目となっており、利用者が張り合いを持って作業に取り組めた。

(1) 作業種目

① 空き缶回収・分別作業

② グッディー店頭リサイクル作業